



Well-beingに寄与する作業療法

The 44th Kinki Occupational Therapy Congress

第44回近畿作業療法学会

会期 2024年 6月29日(土)・30日(日)

会場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

学会長 松下 太 森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科
森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科

主催 近畿作業療法士連絡協議会 **担当** 一般社団法人 大阪府作業療法士会



第44回 近畿作業療法学会

The 44th Kinki Occupational Therapy Congress

Well-beingに寄与する作業療法

会 期 2024年 6月29日(土)・30日(日)

会 場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

学会長 松下 太
森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科
森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科

主 催 近畿作業療法士連絡協議会

担 当 一般社団法人 大阪府作業療法士会

後 援

大阪市
公益社団法人 大阪社会福祉士会
大阪府
一般社団法人 大阪府医師会
公益社団法人 大阪府栄養士会
公益社団法人 大阪府看護協会
一般社団法人 大阪府言語聴覚士会
一般社団法人 大阪府歯科医師会
公益社団法人 大阪府歯科衛生士会
公益社団法人 大阪府柔道整復師会
一般社団法人 大阪府私立病院協会

公益社団法人 大阪府鍼灸師会
公益社団法人 大阪府診療放射線技師会
一般社団法人 大阪府精神保健福祉士会
一般社団法人 大阪府病院協会
一般社団法人 大阪府薬剤師会
公益社団法人 大阪府理学療法士会
公益社団法人 大阪府臨床検査士会
一般社団法人 大阪府臨床工学士会
大阪府臨床心理士会
一般社団法人 日本言語聴覚士協会
一般社団法人 日本作業療法士協会

第44回 近畿作業療法学会 運営事務局

森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科内

〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16

E-mail: 44kinkiot@gmail.com

実 施 要 項

第44回 近畿作業療法学会

会 期 2024年6月29日(土)・30日(日)

会 場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51
TEL: 06-4803-5555

学 会 長 松下 太
森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部 作業療法学科
森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科

テ ー マ Well-being に寄与する作業療法

事 務 局 森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科内
第44回近畿作業療法学会 事務局
〒559-8611 大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16
E-mail: 44kinkiot@gmail.com
URL: <https://kinot44.secand.net>

- 会期中の連絡先
大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
Tel: 06-4803-5555
E-mail: 44kinkiot@gmail.com
事務局: 森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科内

学会長挨拶

第44回近畿作業療法学会の 開催にあたって

第44回近畿作業療法学会
学会長 松下 太



この度、第44回近畿作業療法学会の学会長を務めさせていただきます森ノ宮医療大学の松下太です。

2024年度の近畿作業療法学会は、大阪での開催となりますが、今回は久しぶりに現地に集う学会とさせていただきました。

近畿作業療法学会は、2020年の第40回（滋賀県：天田美恵学会長）が、新型コロナウイルス感染拡大によって急遽 Web 開催に変更され、第43回まで4年連続での Web 開催となっておりましたので、今回は2019年6月に開催された第39回（兵庫県：野田和恵学会長）以来の対面開催であり、実に、5年ぶりの対面開催となります。

今回の学会テーマは「Well-being に寄与する作業療法」としました。作業療法士は、人々の健康と well-being を促進することに関心を持つ専門職です。少子高齢化が進み、社会の在り方が大きく変化しつつある時代において、「Well-being」は忘れてはならないキーワードだと思います。作業療法士が Well-being に寄与できる専門職のトップランナーであることを、今学会で語り合い、再認識し、更なる作業療法の発展に繋がればと思っています。

プログラムとしては、特別講演、公開講座、教育講演、教育セミナー、イブニングセミナー、9つのシンポジウムなど、非常に魅力的なテーマと講師陣にご登壇いただきます。また、近畿の OT 連携や今後の展開にも触れられる学会特別企画や、体験型のワークショップ等も用意させていただきました。特別講演には、東京慈恵会医科大学名誉教授で認知症ケア学会理事長の繁田雅弘先生にご登壇いただき、認知症ケアにおける作業療法士への期待についてお話しいただきます。また、公開講座は、元 TOKIO の山口達也氏をお招きしています。その他、皆様に関心を持ってもらえるような企画を用意しておりますので、たくさんのご参加をお待ちしています。学会長として、久しぶりに多くの皆様とお会いできることを楽しみにしております。

最後に、本学会が盛大に行われることを祈念いたしまして、学会長の挨拶とさせていただきます。

代表幹事挨拶

ご挨拶

近畿作業療法士連絡協議会
代表幹事 川 雅弘



はじめに、本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震において石川県をはじめとする被災地の皆様や関係者の皆様に、あらためて心よりお見舞いを申し上げます。

このたび第44回近畿作業療法学会が松下太学会長のもと、大阪府作業療法士会と会員の皆様の協力によって企画・開催されること、またその尽力に敬意を表し、厚く御礼を申し上げます。

さて、今学会テーマとなっている「Well-being に寄与する作業療法」ですが、『作業療法』の表現に相応しいとても素晴らしいタイトルだと非常に感服いたしました。私たちは心身に障害や困難があっても、希望への意志・意欲を引き出し、その成果を出しながら健康的で幸せに満ちた状態へ支援できる唯一無二の専門職であります。是非ともこの学会が、これからの少子高齢化や多様に難しい社会情勢に対応していくために、次世代へ伝え、繋げることができる内容であることを期待しております。

また、この学会では開催士会の企画とともに、近畿作業療法士連絡協議会の主要事業でもある「連携6事業」の活動報告もさせていただいています。今の時代に作業療法(士)が必要とされている取り組みを2府4県が連携しながら活動をしている内容をお伝えします。その一つでもある災害支援につきましては、能登半島地震による被災地への支援や日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)での活動報告もありますので、共有するとともに私たちの平時の備えにも繋がることを願っています。

最後に、今学会は5年ぶりの完全対面として準備されました。参加された皆様が、内容満載な企画に出会い、顔を合わせて語り合い、そして討論や研鑽をしながら、今後の作業療法の発展へと繋がることを強く期待しています。

この二日間が Well-being となりますよう祈念しております。

祝 辞

大阪府知事 吉村 洋文



第44回近畿作業療学会が、ここ大阪で二日間にわたり盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。また、大阪にお越しいただきました皆様を、心から歓迎申し上げます。

近畿作業療法士連絡協議会の皆様には、日頃から、作業療法の普及発展に力を尽くされるとともに、作業療法を通して、保健・医療・福祉の発展に大きく貢献していただいていることに対し、心から敬意を表します。

大阪府では、少子化・超高齢社会における医療需要の変化を踏まえ、誰もが住み慣れた地域で安心して必要な医療を受けることができるよう、地域医療の充実を図るとともに、府民の健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進に取り組んでいるところです。

中でも、さらなる高齢化への対応は府内すべての医療圏に共通する課題であり、リハビリテーション専門職の果たす役割は、今後ますます重要になってまいります。

作業療法士の皆様は、生活行為全般のリハビリテーションの専門家として、急性期、回復期の医療から在宅復帰後の自立支援や介護など、幅広い領域で活躍しておられます。

今回の学会を通して、作業療法士の皆様が、日頃の学術成果の発表等により、自己研鑽を積まれることは、作業療法の向上及び学術発展に寄与する誠に意義深いことであり、その成果に大きな期待を寄せるとともに、地域の健康と福祉、また地域の暮らしの安心を支える担い手として益々ご活躍されることを期待しております。

さて、今年は「いのち」や「健康」をテーマとした「2025年大阪・関西万博」成功に向けた総仕上げの年となります。大阪府としては、国内外に向けた情報発信を強化するとともに、開催期間中の医療体制に万全を期すべく、準備を進めてまいりますので、お力添え賜りますようお願い申し上げますとともに、お集まりの皆様には、是非とも「2025年大阪・関西万博」に足をお運びいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本大会の成功と、本日お集まりの皆様のご健勝とご活躍、近畿作業療法士連絡協議会の益々のご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

「第44回近畿作業療法学会」の開催に寄せて

一般社団法人 日本作業療法士協会
会長 山本 伸一



2024年6月29-30日、大阪府グランキューブ大阪にて、「第44回近畿作業療法学会」が開催されます。近畿作業療法学会は、近畿2府4県の作業療法士会の会員が一堂に参集し研鑽するという貴重な会でございます。それも、数えて44回。積み重ねてこられました先人の先生方の弛まないご努力ご尽力に敬意を表します。そして今回、当会員の皆様や運営事務局等により、盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

本学会は、森ノ宮医療大学の松下太大会長のもと、テーマは「Well-Being に寄与する作業療法」でございます。学会長の思いは、「作業療法士は、人々の健康と Well-Being を促進することに関心を持つ専門職です。」「作業療法士が Well-Being に寄与できるトップランナーであることを、今学会で語り合い、再認識し、さらなる作業療法の発展に繋がる学会を目指します。」とございます。強い気持ちを感じます。とても頼もしく、そして共感いたします。第44回近畿作業療法学会、きっと会場全体が熱い討論になることでしょう。

作業療法士における2023年度の有資格者数は、約113,000名。日本作業療法士協会の組織率は、約60%でございます。昭和41年、日本の作業療法士は22名からのスタートでございました。第3の医学と呼ばれた「リハビリテーション」。未来に向かって、意気揚々の船出だったと推察いたします。しかしながら、様々な社会情勢や医療状況等から順風ともいえない時期もあったでしょう。諸先輩方はそれらを乗り越え、「今」を構築していただきました。私たちは、それを受け継ぎ、「未来」をさらに創り上げることが責務であります。この度のテーマである「Well-Being に寄与する作業療法」は、まさに「今、そして未来」です。目指すのは「輝いている患者（利用者）さん、輝いている作業療法士」です。それを支える「魅力のある各都道府県士会と日本作業療法士協会」。昨今、組織率が取り沙汰されておりますが、これこそが組織率を保つ源だと思います。

昨年度、日本作業療法士協会は新たな門出でございました。第4次5か年戦略の推進中でございます。臨床作業療法の最良の質と量の提供のために、全国の組織が一体となって歩んでまいりましょう。

結びになりますが、第44回近畿作業療法学会の盛会と近畿2府4県の作業療法士会の益々のご発展を祈念いたします。これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

祝 辞

第44回近畿作業療法学会

一般社団法人 大阪府作業療法士会
会長 関本 充史



この度、第44回近畿作業療法学会が大阪の地で松下太学会長のもと、盛大に開催されますこと心からお慶び申し上げます。また本学会は、コロナ禍以来はじめての対面開催となり、学会開催にあたり企画・運営に携わってくださった会員の皆様、関係者の方々には、深く感謝の意を表します。

5年ぶりの対面開催の上、2日間の学会であり、近畿圏域においてこれからの作業療法がより活性化する機会となると確信しております。世界中でだれもが経験したことのないCOVID-19パンデミックは、突然の別れや何気ない日常の尊さを感じたと共に、感染対策だけでなく、オンラインの活用や対面以外のコミュニケーション手段を取得したことも事実です。今回の学会テーマは、「Well-being に寄与する作業療法 ～認知症の人を中心に～」であり、まさに対面で学ぶと共に、多くの仲間と語り深めていくには最適なテーマです。パンデミックの中、自分自身の生活スタイルだけでなく、物ごとの価値観や一番大切にすることは何かを、自分自身に問いかける機会も多々あったのではないのでしょうか。作業療法は、対象者を中心に考える学問なので、対象者の Well-being を考えるだけでなく、自身の Well-being も考えることで、深化する機会として頂き、時代に即した作業療法の展開の一步としていただきたいと思います。

人口減少・高齢社会が進む日本は、地域包括ケアシステムの深化、働き方改革や価値観の多様性など、多くの課題を抱えています。私たちは、このような課題解決に貢献できる作業療法を提供できるよう、世代を超えて近畿圏域の作業療法士が一致団結して取り組んでいく必要があります。近畿圏域の作業療法士が集い考える場があるのも、諸先輩方が近畿作業療法士連絡協議会を通じて繋いでくださったからです。この機に皆さんがつながり、より絆を深め、有意義な時間となることを願います。

最後になりましたが、本学会のご成功と、各士会会員の皆様のご健勝とご活躍、近畿作業療法士連絡協議会の今後ますますのご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

参加者の皆様へ

1. 学会参加費について

区 分	参加費
正会員（事前登録）2日参加	7,000 円（抄録代込み）
正会員（事前登録）1日参加	4,000 円（抄録代込み）
正会員（当日参加）2日参加	9,000 円（抄録代込み）
正会員（当日参加）1日参加	5,000 円（抄録代込み）
正会員（オンデマンドのみ；事前登録）*	5,000 円（抄録代別）
近畿外 OT 協会員	10,000 円（抄録代込み）
非会員	13,000 円（抄録代別）
作業療法士養成校の学生	0 円（抄録代別）
他職種	2,000 円（抄録代別）
一般（公開講座参加者）	1,000 円（抄録代別）

※オンデマンド配信は、特別講演、教育講演、教育セミナー、第1会場で開催されるシンポジウム（Ⅰ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ）のみの配信となります。また、オンデマンド配信で登録された方で抄録集をご希望される場合には事前に郵送させていただきます。

- 当日参加のお支払いの際にはできる限りクレジットカードでのお支払いにご協力ください。
- 参加登録後の返金・キャンセルは受け付けておりません。
- 近畿2府4県の各作業療法士会の方々は会員証や会費納入時に届くシールなど会員が証明できるものをお忘れなくご持参・ご提示ください。会員が証明できない場合は非会員 OT の扱いになりますので、あらかじめご了承ください。
- 学生の方は、学生証をご提示ください。

2. 学会参加受付について

【受付会場】10階ホワイエ（会場図参照）

【受付時間】〈1日目〉6月29日（土）9:00-17:20

〈2日目〉6月30日（日）9:00-16:00

【受付方法】

本学会 HP の「参加登録（オンライン登録）」からお申込み下さい。本学会ではペイメントを用いての事前登録とさせていただきます。ペイメント登録時に①氏名カード、②参加証明書、③領収書が発行されます。①ネームカード（氏名・所属）と②参加証明書は当日持参ください。受付にてネックホルダーをお渡しいたしますので、当日お忘れないよう宜しくお願い致します。

3. 会場内での注意事項

【クロークについて】

本学会ではクロークを設けておりません。

【撮影・録音について】

会場内での録音、写真・ビデオ撮影等は、撮影許可がされている一部ポスターを除き、著作権保護・患者様のプライバシー保護の理由により関係者用の記録用以外は固く禁止させていただきます。

4. 昼食について

会場内での飲食は可能です。昼食時、空いている会場でお召し上がりください。ただし、ゴミは各自でお持ち帰りいただくようお願いいたします。

5. 閉会式及び表彰

本学会では、優れた発表を行った会員に対して、最優秀賞・優秀賞・ポスター賞を準備しています。したがって閉会式には多数の方にご参加いただけますよう宜しくお願い致します。

座長の皆様へ

- 1) 学会受付で参加受付を済ませた後に、座長受付にて受付を行ってください。
- 2) セッション開始10分前までに、ご担当会場にお越しください。
- 3) プログラムの進行に十分ご配慮いただきますよう宜しくお願いいたします。また発表の形式につきましては以下を参照していただき、円滑な進行となりますようご協力をお願いいたします。

発表者の皆様へ

【利益相反の開示】

第44回近畿作業療学会では、演題発表時に、演題発表に関連する企業等との利益相反（Conflicts of Interest：COI）の有無および状態について申告することを義務づけます。発表者は以下の方法で、利益相反について掲示してください。

〈学会発表における利益相反の掲示方法〉

- ・口述発表は演題名の次（2枚目）のスライドで開示すること
- ・ポスター発表はポスターの最下部に開示すること

利益相反のスライド見本につきましては、HPに記載されている URL よりダウンロードしてください。

一般演題【口述発表】

1. 口述発表の環境・手続き

- 1) 会場でご用意しておりますパソコンの OS およびアプリケーションは以下の通りです。
 - ① OS：Windows 11
 - ② アプリケーションソフト：Microsoft 365 Power Point
- 2) フォントは OS 標準*のみご使用ください。
※MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman
- 3) 発表データは USB メモリーにてお持ちください。バックアップとして予備のデータもお持ちください。
- 4) 再生の際のトラブルが多いことから、動画の使用はお控えください。
- 5) 作成されたデータは、作成した PC 以外で事前に動作確認をしてください。
- 6) 発表データの保存ファイル名は、「演題番号-氏名-所属」としてください。
（例：01-1-大阪太郎-〇〇病院）
- 7) メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトで事前にチェックをしてください。
- 8) お預かりしたデータは発表終了後、事務局が責任を持って消去いたします。

2. 口述発表の受付

- 1) 学会参加受け付けをお済ませの後、発表を行う会場内に設置された PC にデータをコピーし、動作確認を行ってください。
- 2) 発表者受付ではデータの修正・変更はできません。

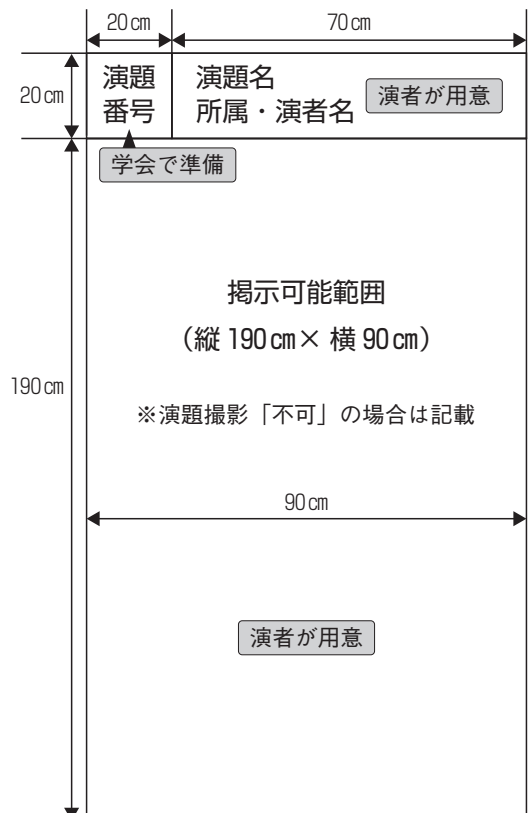
3. 口述発表方法

- 1) 発表するセッション開始10分前に「次演者席」に着席してください。
- 2) 発表および質疑応答は座長の指示に従ってください。
- 3) 発表は全て Power Point による PC プレゼンテーションです。
- 4) 発表は、演台上にセットされているモニター、キーボードを使用してご自身で操作してください。
- 5) 演題発表時間は7分、質疑応答時間は3分です。発表終了1分前(1回)、終了時(2回)に合図をします。時間遵守にご協力ください。

【ポスター発表】

1. ポスターの掲示・撤去方法

- 1) ポスターの貼り付けは、9:00～9:50に行ってください。必ず学会参加受付ならびに発表者受付を済ませ、貼り付け時間内に作業を行っていただきますようお願いいたします。
- 2) 学会では、以下のものをご用意いたします。
 - ・ 掲示パネル：縦190センチ×横90センチ
 - ・ 演題番号：掲示パネルの左上部に演題番号。
 - ・ 画鋏・ピン：ポスターを貼り付けるための画鋏・ピンをご用意いたします。
- 3) ポスターフォームは、右図を参照し、演題名・所属・氏名、本文を作成してください。なお、文字サイズ、フォントの種類、図表・写真などの枚数は特に定めませんが、必ず指定のサイズ内に収まるよう作成してください。
- 4) ポスターの撤去は、すべてのポスターセッション終了後から6月29日発表者は17:30までに、6月30日発表者は14:30までをお願いいたします。なお、撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは、学会事務局にて処分いたします。



2. ポスター発表の方法

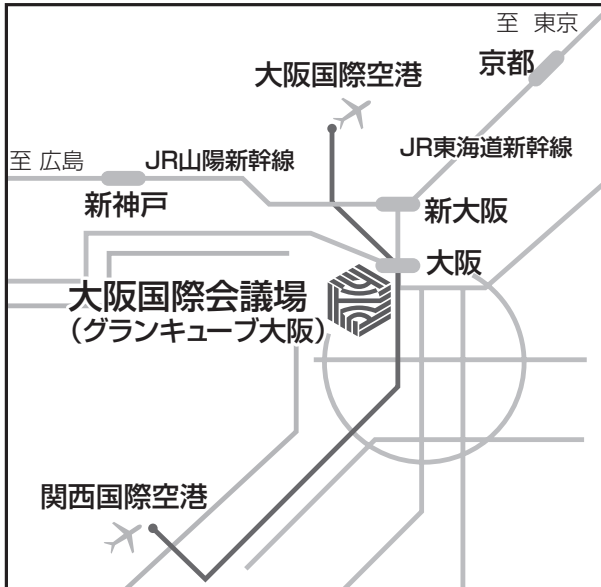
- 1) ポスター発表はセッション形式で行います。各セッションには座長がつき、指定時間内にポスター前にて、発表・質疑応答を行っていただきます。
- 2) 発表者は各セッション開始10分前までに、ポスター前で待機してください。
- 3) 演題発表時間は7分、質疑応答時間は3分です。

会場アクセス

大阪国際会議場
(グランキューブ大阪)

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号
TEL: 06-4803-5555(代表) FAX: 06-4803-5620

■ 空港・新幹線より



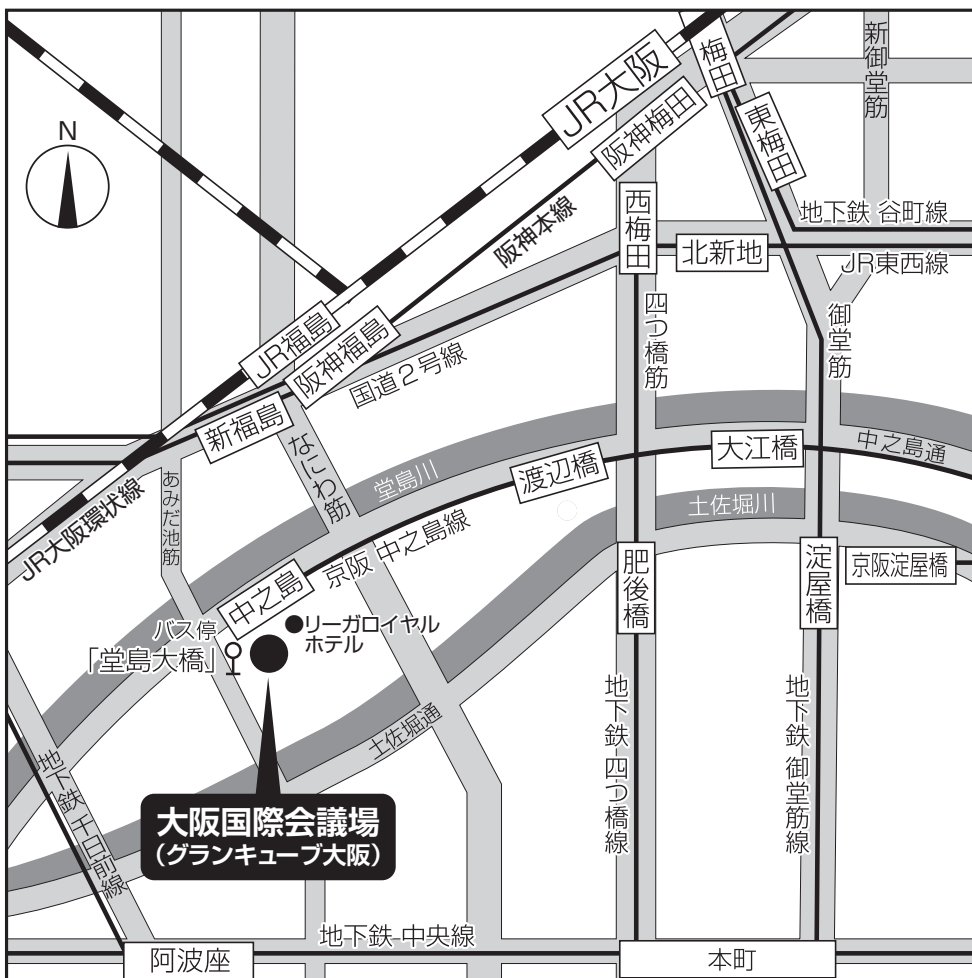
電 車

- 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分
- JR東西線「新福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- 阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- 大阪メトロ「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分

バ ス

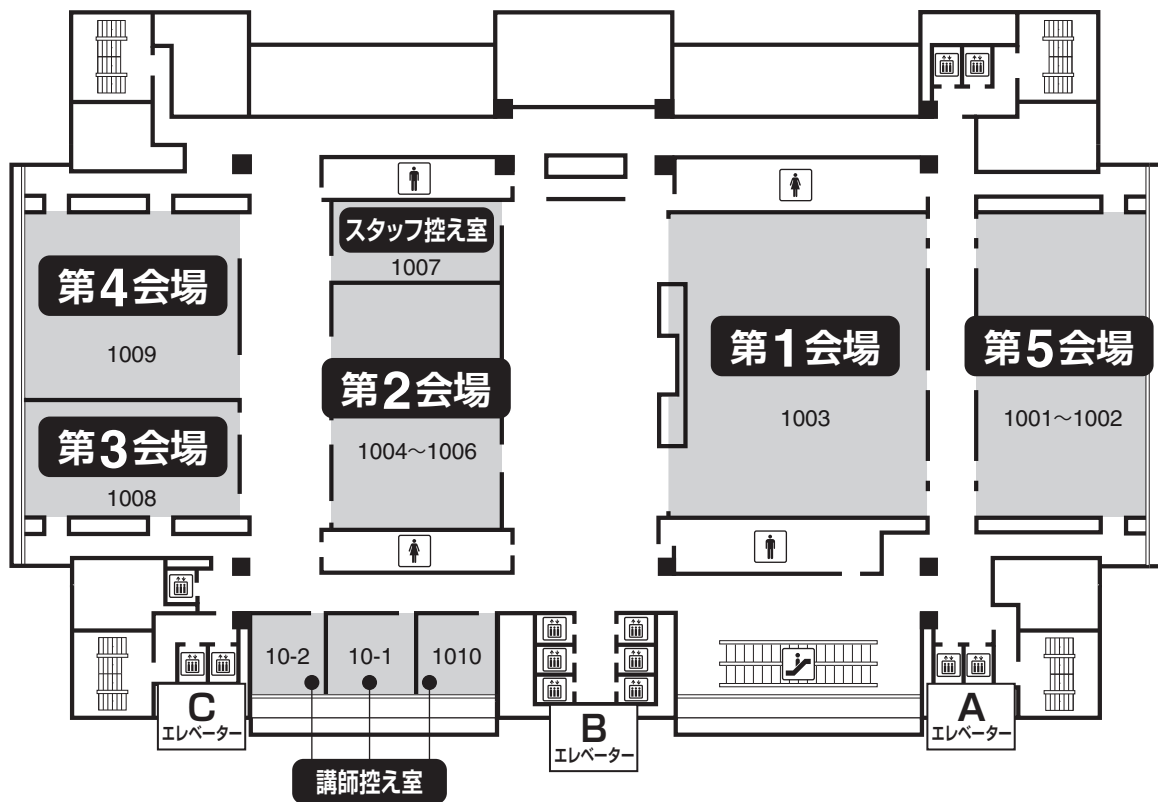
- JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪シティバス(53系統 船津橋行)または(55系統 鶴町四丁目行)で約15分、「堂島大橋」バス停下車すぐ

■ 周辺アクセス



会場案内

10F



日 程 表

2024年 6月29日(土) 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

	第1会場 1003	第2会場 1004～1006	第3会場 1008	第4会場 1009	第5会場 1001～1002
9:00	9:00～ 受 付				
10:00	9:30～10:00 学会長講演 Well-beingに寄与する作業療法 ～認知症の人を中心に～ 10:00～10:30 開会式・学会長挨拶	講師：松下 太 (第44回近畿作業療法学会 学会長) 司会：内藤 泰男			
11:00	10:40～12:10 シンポジウムⅠ Well-beingの追求, 作業療法士の可能性・実践・期待 講師：山川 みやえ(大阪大学) 鎌田 大啓(株式会社 TRAPE) 宮崎 宏興(NPO 法人いねいぶる) 座長：松下 太	10:40～12:10 シンポジウムⅡ 日々の療育の中にエビデンスをちりばめてみませんか? ～思考過程のなかにエビデンスを組み込む療育現場でのクリニカルリーzing～ 講師：加藤 寿宏(関西医科大学) 三浦 正樹(ボバース記念病院) 座長：高畑 脩平	10:40～11:30 口述発表1 精神領域 座長：福原 啓太	10:40～11:20 口述発表2-1 身障領域1 座長：柴田 八衣子	10:40～17:00 企 業 展 示
12:00			12:10～13:00 ランチョンセミナー1 協力：日本支援技術協会	11:30～12:10 口述発表2-2 身障領域2 座長：鈴木 浩之 12:10～13:00 ランチョンセミナー2 協力：MATSUNAGA	
13:00	13:00～14:00 特別講演 認知症ケアにおける作業療法士への期待 講師：繁田 雅弘 (栄樹庵診療所/東京慈恵会医科大学 名誉教授, 一般社団法人日本認知症ケア学会 理事長)	司会：松下 太 山下 和典			講師：川口 晋平 (田川新生病院)
14:00	14:10～15:40 シンポジウムⅢ 高齢者の活動・参加を支援する作業療法 ～Well-being実現を目指して～ 講師：由利 緑巳(森ノ宮医療大学) 檀 信一郎(第二東和会病院) 板谷 智史(吹田市福祉部) 座長：下川 貴大	14:10～15:40 学会特別企画Ⅰ 近畿精神科ワーキングチーム 「妙技研修」 社会参加支援を考える ～ひとと社会を結びつける妙技～	14:10～15:00 口述発表3 発達領域 座長：中村 愛子	14:10～14:50 口述発表4-1 身障領域3 座長：織田 泰匡 15:00～15:40 口述発表4-2 身障領域4 座長：岡本 裕一	14:00～15:00 ワークショップ 自助具実演 ～3Dプリンターを使用した自助具作製の思考法と地域生活者の課題解決～ 15:10～16:00 ポスター1-1 身体障害領域1 座長：中岡 真弘
15:00					
16:00	15:50～17:20 シンポジウムⅣ 運転支援は病院・施設での関わりから、地域でも関わる時代へ ～地域での移動に寄り添う作業療法の実践～ 講師：建木 健(NPO 法人えんしゅう生活支援 net) 佐々木 努(北海道千歳リハビリテーション大学) 田中 創(名古屋市中区総合リハビリテーションセンター) 座長：鍵野 将平	15:50～16:40 口述発表5 高齢期領域 座長：藤原 太郎		15:50～16:50 学会緊急企画 令和6年能登半島地震復興支援チャリティーシンポジウム	16:10～17:00 ポスター1-2 身体障害領域2 座長：牟田 博行
17:00		17:00～18:00 イブニングセミナー どうする?臨床実習! ～診療参加型における臨床思考過程の見学・模倣の指導方法とは～ 講師：花房 謙一(目白大学) 浦田 健太郎(訪問看護ステーション WISE) 座長：田丸 佳希	災害支援とリスクコミュニケーション 講師：宮口 英樹(高知健康科学大学) 有久 勝彦(関西福祉科学大学) 林 亜遊(大阪医療福祉専門学校) 林 辰博(大阪医療福祉専門学校) 中野 皓介(摂津市保健センター) 座長：林 亜遊		
18:00					

2024年 6月30日(日) 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

	第1会場 1003	第2会場 1004～1006	第3会場 1008	第4会場 1009	第5会場 1001～1002
9:00	9:00～10:30 シンポジウムV 司法における作業療法 講師：石田 真由 (大阪保健医療大学) 名座 佳代 (大阪刑務所) 宮口 英樹 (高知健康科学大学) 座長：林部 美紀	9:00～10:30 シンポジウムVI 関節リウマチと作業療法： QOL 向上のための新たな展望 講師：林 正春 (リハビリテーション 中伊豆温泉病院) 佐藤 信治(道後温泉病院) 池嶋 香(清恵会病院) 座長：中村 めぐみ	9:00～9:40 口述発表6-1 身障領域5 座長：掛川 泰朗	9:00～10:30 近畿連携6事業報告 災害支援対策事業 認知症支援事業 バリアフリー展2023 事業報告 OT自動車運転支援 ネットワーク事業 次世代リーダー育成 精神科作業療法 ワーキング	9:00 ～ 16:00 企 業 展 示
10:00			9:50～10:30 口述発表6-2 身障領域6 座長：塚越 千尋		9:30～10:30 ワークショップ 自助具実演 ～3Dプ リンターを使用した自助 具作製の思考法と地域 生活者の課題解決～ 講師：川口 晋平 (田川新生病院)
11:00	10:40～12:10 教育講演 脳卒中後の上肢運動障害の リハビリテーションにおける 最新の Topics 講師：竹林 崇(大阪公立大学) 座長：東 泰弘	10:40～12:10 シンポジウムVII 精神科作業療法の評価が 変われば実践が変わる 講師：早坂 友成(杏林大学) 森元 隆文(札幌医科大学) 小川 泰弘(森ノ宮医療大学) 川村 明代(浅香山病院) 座長：石丸 大貴	10:40～11:20 口述発表7-1 研究／教育／ 災害1 座長：寺村 晃	10:40～12:10 学会 特別企画Ⅱ 近畿が奏でる 就労支援 ～子どもからシニアに、 病院から地域に 「つながる」支援～	10:40～11:20 ポスター発表2-1 高齢期／発達障 害／震災／教育1 座長：生水 智子
12:00		12:10～13:00 ランチョンセミナー3 協力：東和薬品	11:30～12:10 口述発表7-2 研究／教育／ 災害2 座長：上田 将也		11:30～12:10 ポスター発表2-2 高齢期／発達障 害／震災／教育2 座長：立山 清美
13:00	13:00～14:30 教育セミナー いまさら聞けない作業療法理論 ～事例検討を通じて OS と MOHO を学ぶ～ 講師：横井 賀津志(大阪公立大学) 高木 雅之(県立広島大学) 井口 知也(大阪保健医療大学) 坂田 崇好(朝日大学病院) 座長：井口 知也	13:00～14:30 シンポジウムVIII 認知症を持つ人への作業療法 ～Wellbeing に寄与するための実践～ 講師：田中 寛之 (大阪公立大学) 天眞 正博 (岸和田リハビリテーション病院) 寄山 泰志 (株式会社 ともにあゆむ) 座長：松本 祥平	13:00～14:30 学会 特別企画Ⅲ 地域(まち)の 元気に寄与する 作業療法 ～実践報告で 繋がる2府4 県の思いと 可能性～	13:00～14:30 シンポジウムIX 多様な「働く」を 支援する作業療法 講師： 仲地 宗幸 (合同会社キングコング) 金川 善衛 (NPO 法人日本学び 協会ワンモア) 元廣 惇 (株式会社 Canvas)	
14:00				座長：金川 善衛	
15:00	14:40～16:00 公開講座 アルコール依存からの 社会復帰と作業療法支援 講師：山口 達也((株)山口達也) 小砂 哲太郎 (久里浜医療センター) 司会：松下 太				
16:00	16:10～16:30 閉会式				

プログラム

学会長講演 6月29日(土) 9:30～10:00

第1会場(1003)

司会：内藤 泰男(大阪公立大学)

Well-being に寄与する作業療法 ～認知症の人を中心に～

松下 太 森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 教授, 学科長
作業療法士(認知症専門・認定作業療法士), 社会福祉士,
介護支援専門員, 博士(医学)

シンポジウムⅠ 6月29日(土) 10:40～12:10

第1会場(1003)

座長：松下 太(森ノ宮医療大学)

Well-being の追求, 作業療法士の可能性・実践・期待

山川 みやえ 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 准教授
Director of the Japan Centre for Evidence-Based Practice : A JBI Centre of
Excellence
総合病院浅香山病院 臨床研修特任部長

鎌田 大啓 株式会社 TRAPE(トラピ) 代表取締役/CEO/CWD
大阪大学 医学部 保健学科 医学系研究科 招聘教員

宮崎 宏興 特定非営利活動法人いねいぶる
T-SIP たつのソーシャルインくるジョンプロジェクト 理事長/代表

シンポジウムⅡ 6月29日(土) 10:40～12:10

第2会場(1004～1006)

座長：高畑 脩平(藍野大学)

日々の療育の中にエビデンスをちりばめてみませんか？ ～思考過程のなかにエビデンスを組み込む療育現場でのクリニカルリーズニング～

加藤 寿宏 関西医科大学 リハビリテーション学部

三浦 正樹 ポバース記念病院

ランチョンセミナー1 6月29日(土) 12:10～13:00

第3会場(1008)

協力：日本支援技術協会

ランチョンセミナー2 6月29日(土) 12:10～13:00

第4会場(1009)

協力：MATSUNAGA

特別講演 6月29日(土) 13:00～14:00

第1会場(1003)

司会：松下 太(森ノ宮医療大学)

山下 和典(株式会社 Link Heart ヴィータ訪問看護ステーション)

認知症ケアにおける作業療法士への期待

繁田 雅弘 栄樹庵診療所
東京慈恵会医科大学 名誉教授
一般社団法人 日本認知症ケア学会 理事長

ワークショップ 6月29日(土) 14:00～15:00

第5会場(1001～1002)

自助具実演

～3D プリンターを使用した自助具作製の思考法と地域生活者の課題解決～

川口 晋平 田川新生病院

シンポジウムⅢ 6月29日(土) 14:10～15:40

第1会場(1003)

座長：下川 貴大(四ツ橋診療所在宅診療部)

高齢者の活動・参加を支援する作業療法 ～Well-being 実現を目指して～

由利 緑巳 森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科 教授

檀 信一郎 社会医療法人東和会 リハビリテーション部 科長

板谷 智史 吹田市 福祉部 高齢福祉室支援グループ

学会特別企画Ⅰ 6月29日(土) 14:10～15:40

第2会場(1004～1006)

司会：小川 泰弘(森ノ宮医療大学)

近畿精神科ワーキングチーム「妙技研修」

社会参加支援を考える ～ひとと社会を結びつける妙技～

座長：鍵野 将平(森ノ宮医療大学)

運転支援は病院・施設での関わりから、地域でも関わる時代へ ～地域での移動に寄り添う作業療法の実践～

建木 健 NPO 法人 えんしゅう生活支援 net

佐々木 努 北海道千歳リハビリテーション大学 作業療法学専攻

田中 創 名古屋市総合リハビリテーションセンター 作業療法科長
日本作業療法士協会 地域社会振興部 地域事業支援課 運転と地域移動推進班 班員
運転と作業療法研究会 世話人
運転と地域移動支援実践者

座長：林 亜遊(大阪医療福祉専門学校)

災害支援とリスクコミュニケーション

宮口 英樹 高知健康科学大学 学長／教授
一般社団法人あるす(放課後等デイサービスあるす西条栄町)代表理事

有久 勝彦 関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 准教授

林 亜遊 大阪医療福祉専門学校

林 辰博 大阪医療福祉専門学校

中野 皓介 摂津市保健センター

座長：田丸 佳希(森ノ宮医療大学)

どうする？臨床実習！ ～診療参加型における臨床思考過程の見学・模倣の指導方法とは～

花房 謙一 目白大学 保健医療学部 作業療学科
目白大学大学院 リハビリテーション学研究科

浦田 健太郎 訪問看護ステーション WISE
合同会社 relationship Quality 代表社員

座長：林部 美紀(藍野大学)

司法における作業療法

石田 真由 大阪保健医療大学

名座 佳代 大阪刑務所

宮口 英樹 高知健康科学大学 学長／教授
一般社団法人あるす(放課後等デイサービスあるす西条栄町)代表理事

座長：中村 めぐみ(森ノ宮医療大学)

関節リウマチと作業療法：QOL 向上のための新たな展望

林 正春 JA 静岡厚生連 中伊豆温泉病院 作業療法科 医療技術部長 兼 作業療法科技師長

佐藤 信治 道後温泉病院リウマチセンター

池嶋 香 清恵会病院 総合リハビリテーション 作業療法科

司会：川 雅弘(琴の浦リハビリテーションセンター)

【災害支援対策事業】

災害支援対策事業報告

花崎 将樹 京都府作業療法士会

【認知症支援事業】

認知症支援チームの活動と各府県士会の動き

森 志勇士 京都府作業療法士会

【バリアフリー展 2023 事業報告】

バリアフリー 2023における作業療法の普及啓発活動

牟田 博行 大阪府作業療法士会

【OT 自動車運転支援ネットワーク事業】

2023活動報告

林 朋一 奈良県作業療法士会

【次世代リーダー育成】

次世代リーダーに求められるもの

林 佳宏 京都府作業療法士会

【精神科作業療法ワーキング】

(K-POTW : Kinki-Psychiatric Occupational Therapy Working)

当ワーキング発足の経緯と、『妙技研修』とは

平山 聡 京都市こころの健康増進センター

ワークショップ 6月30日(日) 9:30～10:30

第5会場(1001～1002)

自助具実演

～3D プリンターを使用した自助具作製の思考法と地域生活者の課題解決～

川口 晋平 田川新生病院

教育講演 6月30日(日) 10:40～12:10

第1会場(1003)

司会：東 泰弘(森ノ宮医療大学)

脳卒中後の上肢運動障害のリハビリテーションにおける最新の Topics

竹林 崇 大阪公立大学 医学部 リハビリテーション学科 教授
大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 教授

シンポジウムⅦ 6月30日(日) 10:40～12:10

第2会場(1004～1006)

座長：石丸 大貴(大阪大学医学部附属病院)

精神科作業療法の評価が変われば実践が変わる

早坂 友成 杏林大学 保健学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻/医学部 精神神経科学教室
博士(保健医療学), 専門作業療法士(精神科急性期), 認定作業療法士

森元 隆文 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科

小川 泰弘 森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科

川村 明代 公益財団法人 浅香山病院 デイケア室

近畿が奏でる就労支援
～子どもからシニアに、病院から地域に「つながる」支援～

いまさら聞けない作業療法理論 ～事例検討を通じてOSとMOHOを学ぶ～

横井 賀津志 大阪公立大学

高木 雅之 県立広島大学

井口 知也 大阪保健医療大学

坂田 崇好 朝日大学病院

認知症を持つ人への作業療法 ～Wellbeingに寄与するための実践～

田中 寛之 大阪公立大学 医学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

天真 正博 岸和田リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター 主任

寄山 泰志 株式会社ともにあゆむ 代表取締役

地域(まち)の元気に寄与する作業療法
～実践報告で繋がる2府4県の思いと可能性～

座長：金川 善衛(日本学び協会ワンモア)

多様な「働く」を支援する作業療法

仲地 宗幸 合同会社 キングコング

金川 善 NPO 法人日本学び協会 ワンモア 理事
株式会社 Rewarding 外部顧問

元廣 惇 株式会社 Canvas 代表取締役
国立大学法人島根大学 研究・学術情報本部 地域包括ケア教育研究センター
CoHRE (The Center for Community-based Healthcare Research and Education)
客員研究員

司会：松下 太(森ノ宮医療大学)

アルコール依存からの社会復帰と作業療法支援

山口 達也 株式会社山口達也 代表取締役

小砂 哲太郎 久里浜医療センター

一般演題（口述発表）

口述発表1 6月29日（土） 10：40～11：30

第3会場（1008）

[精神領域]

座長：福原 啓太（奈良学園大学）

- O1-1** アクチグラフを用いた生活リズムの可視化
（症状への気づきと対処行動につながり就労継続が可能となった統合失調症の一症例）
浦川 瑞生 社会医療法人北斗会 さわ病院 リハビリテーション課
- O1-2** 統合失調症患者を対象とした
情報リテラシー自己効力感尺度日本語版の作成および信頼性・妥当性の検討
林 良太 関西医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科、
医療法人杏和会 阪南病院
- O1-3** 統合失調症を対象とした認知機能リハビリテーション『CAT』を通して
遂行機能と生活に変化がみられた事例
川村 明代 公益財団法人 浅香山病院
- O1-4** 奈良県ソーシャルフットボール協会設立までの経緯と実践報告
木納 潤一 奈良県ソーシャルフットボール協会、
秋津鴻池病院 リハビリテーション部
- O1-5** 就労支援を目的とした精神科外来作業療法
—PTSD を有する対象者の「働きたい」を支援して—
南 庄一郎 大阪府立病院機構 大阪精神医療センター リハビリテーション室

口述発表2-1 6月29日（土） 10：40～11：20

第4会場（1009）

[身障領域1]

座長：柴田 八衣子（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

- O2-1** 頸椎症性脊髄症術後の上肢感覚障害に対して
振動刺激が奏功し上衣の更衣動作改善が成功した一症例
新里 優斗 医療法人清水会 京都リハビリテーション病院
- O2-2** COVID-19の5類移行後、
回復期リハビリテーション病棟の入院患者が隔離期間に機能低下を認めた要因
栗谷 明至 医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院
- O2-3** 重度上肢麻痺と痙縮を呈した症例に対し電気刺激療法と拡散型衝撃波治療を
段階的に実施し、麻痺手の管理能力向上と生活での使用を目指した試み
坂本 真由佳 医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院
- O2-4** 上肢切断者における多種感覚入力による Telescoping 現象の変化
鹿嶋 倫隠 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター

[身障領域2]

座長：鈴木 浩之(和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院)

O2-5 麻痺手に対する自己管理の行動変容に向けた作業療法の一症例

湯本 康太郎 西宮回生病院

O2-6 「休息」と「自信の構築」を図った作業療法の関わりが感情の表出に繋がった症例

田村 爽香 姫路医療生活協同組合 共立病院

O2-7 右片麻痺および失語症を呈した脳卒中患者の洗顔動作再獲得を目指して
Transfer Package を実施した症例

守本 純一 医療法人吉栄会 吉栄会病院

O2-8 作業バランスの改善により、ADL 練習の好循環を期待して！
～訓練拒否患者に対するポジティブ心理学の活用～

戸上 茜理 医療法人恒人会 近江温泉病院

[発達領域]

座長：中村 愛子(大阪整肢学院)

O3-1 発達障害児支援における公立小学校教員の困り事と作業療法士の認知度
～公立小学校教員と作業療法士の協働に向けて～

奥田 祥司 宝塚医療大学 和歌山保健医療学部 作業療法学専攻

O3-2 みんなにも見える「やった感」
～保育所等訪問支援事業を活用して本人の「やった感」に繋がった事例の報告～

前田 亮輔 こども発達支援ルーム PLANET

O3-3 ピアサポーターとのオンライン交流会を通して前向きな対話に繋がった ASD の一例

石川 真紀 医療法人鴻池会 秋津鴻池病院

O3-4 成人 ASD 者に対して会話時の感情調整に介入した一例

大田 理恵 就労支援センター SORA

O3-5 看護師と協働して実施した不登校児への関わり
～作業活動を介して他者と同じ空間を過ごし、コミュニケーションが広がったケース～

林部 美紀 藍野大学 医療保健学部 作業療学科,
訪問看護ステーション こころみ

[身障領域3]

座長：織田 泰匡(医療法人社団石鎚会)

O4-1 促通反復療法と上肢リハビリ装置 CoCoroe により
日常生活での麻痺側使用頻度が増加した事例

谷川 裕也 社会医療法清恵会 清恵会三宝病院

O4-2 両側急性硬膜下血腫により意識障害・四肢麻痺を呈した症例
—自己摂取獲得にむけて、食事の先行期に着目して—

峰村 幸宏 公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院

O4-3 橈骨遠位端骨折後に COPM と ADOC-DRF を組み合わせ、
実践した事によって目標とする作業の再獲得に至った事例

池側 百華 西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院

O4-4 半側空間無視、病態失認を症状とした脳梗塞患者に対し
排泄動作自立を目指し介入した難渋例

福島 果歩 独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院

[身障領域4]

座長：岡本 裕一(野洲病院)

O4-5 ADOC を活用したことで本人が望む作業に焦点を当てることができ、
早期退院が可能になった、高次脳機能障害を呈した壮年期脳出血事例

亀井 勇 医療法人康生会 淀川平成病院

O4-6 デグロービング損傷を伴う高度挫滅症例に対する作業療法の経験

井上 功寛 大阪医科薬科大学病院 リハビリテーション科

O4-7 漸増的な作業療法介入により日常生活動作の改善が見られた
重度ギランバレー症候群の一事例

細川 遼介 医療法人えいしん会 岸和田リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター

O4-8 実体験を通した関わりが有効であった高次脳機能障害の一症例
～振り返りシートを用いて気づきを促す～

松原 果歩 地方独立行政法人 市立吹田市民病院

[高齢期領域]

座長：藤原 太郎(和泉リハビリ訪問看護ステーション)

- O5-1** 認知症高齢者に使用可能な施設の物理的環境評価尺度に関する検討：
国内での探索的レビューを通じて
後迫 春香 医療法人協和会 協和会病院、
大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科
- O5-2** 福祉施設における支援者のエンパワーメント向上を目指した
作業療法士の間接的支援について
小松 和史 社会福祉法人京都福祉サービス協会 京都市修徳特別養護老人ホーム
- O5-3** 移動カフェにおける当事者発信がもたらす効果
～発信を支援する OT の役割～
石山 満夫 千里津雲台訪問看護ステーション
- O5-4** 要支援高齢者へのセルフマネジメント支援のあり方に関する考察
名倉 和幸 医療法人一祐会 介護老人保健施設ハーモニー
- O5-5** 訪問型サービス C(短期集中予防サービス)
～活動分析からセルフマネジメントに着目し、介護保険の自立に至った1症例～
節安 政希 大阪府作業療法士会、
和泉市役所 高齢介護室

[身障領域5]

座長：掛川 泰朗(関西福祉科学大学)

- O6-1** 脳卒中後の四肢麻痺および重度構音障害に対し、
コミュニケーションエイドの獲得を目指した一例
小坂 有紀 摂津市保健センター
- O6-2** 集中治療症候群により軽度認知機能障害を呈した COVID-19一症例に対する
コグニサイズの効果
真島 洋平 関西電力病院
- O6-3** 筋電義手を断念せざるを得なかった事例
古原 将馬 関西医科大学総合医療センター
- O6-4** 右下腿切断の方の運転再開を目指して
～義足ですか、左下肢ですか～
井溪 治斗 社会医療法人三車会 貴志川リハビリテーション病院

[身障領域6]

座長：塚越 千尋(藍野大学)

O6-5 回復期病棟にてADL練習に取り組めない第11胸椎圧迫骨折の超高齢の女性に対し、その要因について応用行動分析を用いてアプローチした一例

広瀬 慶子 医療法人甲風会 有馬温泉病院

O6-6 失語症患者に対して回復段階に応じた面接方法で共同意思決定を重視した具体的な目標設定を行ったことで早期退院につながった事例

亀島 和輝 琴の浦リハビリテーションセンター

O6-7 再発性脳梗塞後の円背姿勢の患者に対し、誤嚥予防と離床促進のためにシーティングに介入した一例

細川 純子 JCHO 星ヶ丘医療センター

O6-8 上行弓部大動脈置換術後に意識消失を繰り返した症例に対する作業療法経験～高度内頸動脈狭窄症の合併を認めリスク管理に難渋した一症例～清水 完 関西電力病院 リハビリテーション部,
関西電力病院 リハビリテーション科,
関西電力医学研究所 リハビリテーション医学研究部

[基礎研究／教育／災害1]

座長：寺村 晃(大阪保健医療大学)

O7-1 グループホームに入居する認知症高齢者に対する間接的作業療法の効果—MOHOの習慣化の変化を目指して—渡部 雄太 大阪保健医療大学 保健医学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻,
社会福祉法人高陽会 グループホーム風の里**O7-2** 認知症がある高齢者の作業的生活の構築と身体活動量の関係について～介護医療院に入居する一事例を通じて～小栢 拓也 学校法人福田学園 大阪リハビリテーション専門学校,
医療法人尚和会 介護医療院 ケアヴィラ伊丹**O7-3** 退院支援プロトコル導入前後の退院支援の比較

松本 裕亮 社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院

O7-4 ALS Depression Inventory-12(ADI-12)日本語版の尺度翻訳岩倉 慶和 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター,
大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科

07-5 スマホ操作能力と社会参加・生活機能との関連性

田中 寛之 大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科

07-6 共分散構造分析を用いた多職種連携の実践度と職種間交流の検討
—精神科領域における調査—

大類 淳矢 大阪保健医療大学 保健医療学部 作業療法学専攻

07-7 臨床長期実習における2対1モデルの一考察

常深 志子 地方独立行政法人 市立吹田市民病院

07-8 CSCARIC の概念に基づいた災害リハビリテーション支援
—能登半島地震での支援活動の経験から—

中野 皓介 摂津市保健センター

一般演題（ポスター発表）

ポスター発表1-1 6月29日(土) 15:10～16:00

第5会場(1001～1002)

[身体障害領域1]

座長：中岡 真弘(堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター)

P1-1 役割や生きがいを削ぎ落とすことで在宅生活を継続させることができた重症心不全患者

福井 恵 奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター

P1-2 回復期リハビリテーション病棟入院中の手関節骨折術後患者に対して、課題指向型訓練と Transfer Package を併用したハンドセラピーにより行動変容と訓練効果を認めた実践報告

藤野 祥二 医療法人康生会 淀川平成病院 リハビリテーション部

P1-3 重度認知症者へ残存機能を活かした介助方法を検討した事例

泉本 佳奈子 医療法人えいしん会 岸和田リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター

P1-4 「料理ができたら息子が助かる」
料理を通した主体的な生活への支援
～鬱・軽度認知症等を背景に、肺炎・廃用症候群をきたした男性症例に対して～

福迫 桃佳 医療法人恒人会 近江温泉病院

P1-5 認知症事業再構

福島 京子 医療法人双葉会 江井島病院

ポスター発表1-2 6月29日(土) 16:10～17:00

第5会場(1001～1002)

[身体障害領域2]

座長：牟田 博行(介護老人保健施設 竜間之郷)

P1-6 「運転支援における危険認識への働きかけ」のもと、
運転そして作業の再開を支援した事例

福本 陽平 医療法人恒仁会 近江温泉病院

P1-7 気管切開後、非言語での意思表示が困難な症例に対して、
カフ上発声の利用で発話が可能となった1症例

森 陽生 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター

P1-8 当院における運転再開支援の取り組み
—神経心理学的検査とドライビングシミュレーター評価の関係性—

松本 佳純 奈良県総合リハビリテーションセンター

P1-9 生活行為申し送り表を用いたことで、入院中の課題を生活期に繋ぎ、
自宅での調理の従事に至った事例

尾崎 友紀 医療法人南労会 紀和病院

P1-10 「一人で買い物に行きたい」
—閉じこもり傾向の高齢者に対し、家族理解を得ながら目標達成した在宅支援—
About support for housebound elderly

松尾 浩樹 にじいろ訪問看護ステーション

P2-1 通所介護における認知症者のBPSDに対する小集団作業療法の効果
—統制群と比較して—

田村 洋子 医療法人社団星晶会 介護老人保健施設 伊丹ゆうあい

P2-2 児童が片付けをする際の支援

横井 歩美 株式会社リニエール

P2-3 多世代交流の場づくりでけん玉を用い、
通所型短期集中サービスC卒業者が地域で活躍できる通いの場を増やす取り組み

村橋 大輔 社会福祉法人慶生会 慶生会訪問看護ステーション四條畷出張所

P2-4 能登半島地震での災害支援
～中央対策本部での活動～

林 辰博 大阪医療福祉専門学校 作業療法士学科

P2-5 医療系大学生の臨床実習による抑うつの変化の関係

稲田 優 宝塚医療大学 和歌山保健医療学部 作業療法学専攻

P2-6 作業療法学学生の臨床実習とエゴ・レジリエンスの関連性

小林 香澄 医療法人社団向陽会 向陽病院

P2-7 作業療法養成校におけるフロー理論を応用した授業評価システムの考案

吉田 一平 学校法人響和会 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部
リハビリテーション学科 作業療法学専攻

P2-8 フロー理論を応用した「難易度」と「理解度」の2項目授業アンケートの試み
—毎回の授業直後に実施する負担感と役立ち度の検討—

西尾 恵 学校法人響和会 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部
リハビリテーション学科 作業療法学専攻、
京都大学 学際融合教育研究推進センター 地域連携教育研究推進ユニット

第44回近畿作業療法学会

学会組織

学 会 長	松下 太	森ノ宮医療大学
副 学 会 長	内藤 泰男	大阪公立大学
相 談 役	横井賀津志	大阪公立大学
実行委員長	田丸 佳希	森ノ宮医療大学
副実行委員長	野崎 健	株式会社 E-my crew
	田中 歩	介護老人保健施設ヴァンサンク
事 務 局 長	中西 一	森ノ宮医療大学
学 術 局 長	井口 知也	大阪保健医療大学
会 計	片岡 亜衣	ヴァンサンクポルテ

実 行 委 員

鍵野 将平	森ノ宮医療大学	東 泰弘	森ノ宮医療大学
小川 泰弘	森ノ宮医療大学	古原 将馬	関西医科大学総合医療センター
兼田 敏克	森ノ宮医療大学	中村 孝志	河内総合病院
中村めぐみ	森ノ宮医療大学	左川 大樹	介護老人保健施設ヴァンサンク
大石 和也	枚方市役所	金森 幸	森ノ宮医療大学
永田 作馬	葛城病院	林部 美紀	藍野大学
松本 祥平	渡辺病院	松下 卓也	大阪警察病院
濱田茉里奈	大阪労災病院	石丸 大貴	大阪大学医学部附属病院
川村 明代	浅香山病院	高畑 脩平	藍野大学
下川 貴大	四ツ橋診療所		

〈次期開催予定〉

第45回近畿作業療法学会

テーマ：チャレンジ！ 聞いて語って考えよう
あなたらしい作業療法とは？

会 期：2025年6月1日（日）

学会長：柴田 八衣子（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

会 場：神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス B 棟

主 催：近畿作業療法士連絡協議会

第44回 近畿作業療法学会

発 行 者：近畿作業療法士連絡協議会

運営事務局：森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部
作業療法学科内
〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16
E-mail：44kinkiot@gmail.com

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

豊かな環境から
豊かな経験へ

箕面学園福祉保育専門学校



作業療法学科/保育科・介護福祉科
〒563-0037大阪府池田市八王寺1-1-25
TEL 072-751-2233 FAX 072-751-2391
<https://minohsenmon.jp>



HP

可搬型階段昇降機のご案内

階段のため車いすでの出入りが困難な方が、安全に外出ができ、介護負担が大幅に軽減
個人だけではなく、公共施設・教育施設などでも幅広くご利用いただいています



車いすと昇降装置が一体で
取扱い操作がシンプルです

**車いす一体型
トランサポーター(TSテクノロジー)**



- 幅 57 cm×奥行 102 cm
- 高さ 123~164 cm
- 前座高:46 cm
- 座幅:40 cm
- 重量:38 kg
- 昇降速度(3段切替)
12/15/18 段/分
- 連続昇降約:500段
- 充電時間:約 3 時間



昇降装置と車いすが分離し
標準型車いすとしても使用可

**車いす分離型
スカラモービル(アルパジャパン)**



- 幅 61 cm×奥行 102 cm
- 高さ 114~154 cm
- 前座高:43 cm
- 座幅:40 cm
- 重量:40.8kg
- 昇降速度:6~19 段/分
- 連続昇降:約 300段
- 充電時間約:5 時間
- ※上記内容は、スカラモービルに
イーウィング 22 装着時

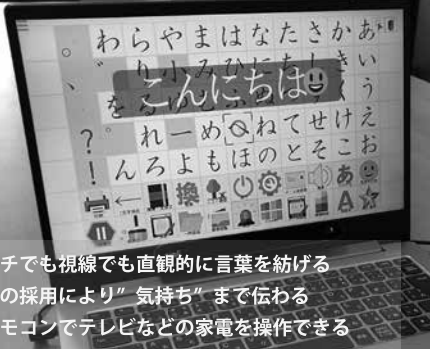
介護保険レンタル対象

使用環境や適合階段、介護保険のご利用等利
用料金等お気がるにお問合せ願います。
ご利用に当たっては、資格者による操作指導
が必要です。



近鉄スマイルライフ株式会社

大阪府東大阪市瓜生堂 3-1-13
TEL.06-6732-7101
FAX.06-6732-7121
<https://www.k-smile.com/>



■スイッチでも視線でも直観的に言葉を紡げる
 ■絵文字の採用により“気持ち”まで伝わる
 ■学習リモコンでテレビなどの家電を操作できる

2021年度 世界発信コンペティション 特別賞 受賞
 第32回中小企業優秀技術・新製品賞 受賞

気持ち伝わる

初めてでも直感的に操れるコミュニケーションツール

eeyes®
 イイアイズ

NEWS

最先端の
音声合成
サービス



coestation™ 対応



自分の声を登録しておけば、文の読み上げに使えます

Icon made by Creatica Creative Agency, Freepik, mynamepong, Pixed Buddha, Roundicons, Smashicons, Twitter/Vectors Market from www.flaticon.com

詳細はWEBから

<http://orangearch-labo.com/eeyes/>



お問い合わせ・ご相談は



ORANGE ARCH
 株式会社 オレンジアーチ



03-5284-8687

受付時間 9:00~17:00
 (土・日・祝日・GW・お盆・年末年始を除く)



eeyes@orangearch.co.jp

〒120-0034 東京都足立区千住一丁目11番2号 北千住Vビルディング7階

第44回 近畿作業療法学会 運営事務局

森ノ宮医療大学
総合リハビリテーション学部 作業療法学科内
〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16
E-mail: 44kinkiot@gmail.com